

開催主旨

多くの国民がボランティア活動に取り組んでおり、今後の災害においても支援活動を行いたいと考えています。想定されている大規模災害や各地で頻発する自然災害に備えて、多くの国民がボランティア活動に参加することが期待されています。

このイベントでは、日頃からの防災や被災地での支援活動への参加を後押しするための方策を考える機会にします。

プログラム

以下、敬称略・順不同

13:00 -	開会 ・内閣府挨拶 ・オリエンテーション
13:10 -	パネルディスカッション 『防災に関わるボランティアの裾野を広げるために』 [パネリスト] 中西 哲生 (スポーツジャーナリスト) 久保田 崇 (前・陸前高田市副市長、青山社中リーダー塾 公共政策学校・副校長) 橋本 笙子 (特定非営利活動法人 ADRA Japan 事業部長) 龍治 玲奈 (日本マイクロソフト株式会社 法務・政策企画統括本部 渉外・社会貢献課長)
15:30 -	ワークショップ ワールドカフェ形式で、参加者がパネルディスカッションの感想や担い手を広げていくためにできる方策などを話し合います。
16:30	閉会

お願い

本日パネルディスカッションの時間帯は、パネリストの撮影はご遠慮くださいますようお願い致します。

本日の「防災とボランティアのつどい」の様子は、記録としてウェブサイト上に写真を公開させていただく予定です。また、報道機関にも取材にきていただいております。みなさまの様子が報道される可能性がありますこと、ご了承ください。

パネルディスカッション 『防災に関わるボランティアの裾野を広げる』

【パネリスト】

中西 哲生 スポーツジャーナリスト



(なかにし・てつお)1969年、愛知県生まれ。1992年、同志社大学経済学部卒業後、名古屋グランパスエイトに入団。1995年シーズンには、アーセン・ベンゲル監督の下で天皇杯制覇。1997年、川崎フロンターレに移籍。1999年にはキャプテンとして、チームのJ2優勝・J1昇格に貢献する。2000年いっぱい、現役引退。引退後は、スポーツジャーナリストとして活動を開始。TBS「サンデーモーニング」、テレビ朝日「Get Sports」などのテレビ番組でコメンテーターを務めるほか、全国でサッカー教室を開催する。TOKYO FM「中西哲生のクロノス」メインパーソナリティー。桐蔭横浜大学客員教授。公益財団法人日本サッカー協会・特任理事。

久保田 崇 前・陸前高田市副市長、青山社中リーダー塾 公共政策学校・副校長



1976年、静岡県掛川市生まれ。京都大学総合人間学部を卒業後、内閣府入り。英ケンブリッジ大学MBA。ニート対策を内容とする「子ども・若者育成支援 推進法」制定などに携わる。2011年8月から陸前高田市副市長を4年間務める。2016年4月より立命館大学公共政策大学院教授に就任予定。著書に『官僚に学ぶ仕事術』、『官僚に学ぶ読書術』など。

橋本 笙子 特定非営利活動法人ADRA Japan事業部長



(はしもと・しょうこ)システムエンジニア、短大講師の傍ら、野外活動指導者として青少年育成活動に携わる。1988年、ADRAの青年海外ボランティア活動であるマレーシアでの井戸掘りに参加。その後も仕事を続けながらADRA Japanのボランティアとして海外プロジェクトに参加し、国内ではデータベース作成など事務処理のボランティアとして関わりながら、国際協力について学ぶ。阪神大震災をきっかけに ADRAに転職、1996年から広報を担当し、1999年からは団体の運営・事業全般に関わる。現在は事業部長として、緊急救援事業、開発支援事業、国内事業全般を統括している。2児の母。

龍治 玲奈 日本マイクロソフト株式会社 法務・政策企画統括本部 渉外・社会貢献課長



(りゅうじ・れな)大学卒業後、国際営業、外資系企業でのCSR部門立上げを経験。その後、企業全体で社会貢献に取り組む姿勢、多彩なプロジェクト実績等に惹かれ、2007年に日本マイクロソフト株式会社で活躍する道を選択。以来、同社の渉外・社会貢献担当として「empower every person and every organization on the planet to achieve more〜地球上のすべての人、すべての組織に関わる人たちが、より多くのことを達成する力になる〜」をミッションに様々なプロジェクトに従事。ソーシャルセクター、ビジネスセクター、パブリックセクターとも連携し、女性の就労支援、若者の就労支援、東北復興支援などを実現するなど、CSRの第一線で活躍。